

ディプロマポリシー	DPT（実践的な知識・技能）		DPT（創造力と行動力）	
	①経営・マーケティング・会計・経済の実践的な知識・技能の活用を身に付け、社会の諸問題を複合的な視点から考察することができる（把握する力）。	②社会の諸問題を理解するために、情報通信技術（ICT）を活用して必要な情報を収集し、論理的・批判的に思考し、創造的に判断することができる（考え抜く力）。	③グループ活動やディスカッションを通じて課題解決に主体的に参加することができる（協調する力）。	④自己および社会を改善する方法を考え、それを実現するために失敗と挑戦を繰り返すことができる（挑戦する力）。

科目区分	学部専攻科目					
科目群	経営学	マーケティング	会計学	経済学	演習	
400番台 (4年次相当)					ゼミナールⅢ ゼミナールⅣ	
300番台 (3年次相当)	人的資源管理 イノベーション・マネジメント 経営倫理 オペレーション管理 ツーリズムマネジメント ものづくり経営 農業経営	情報セキュリティ 応用経営戦略論A 応用経営戦略論B 応用経営管理論A 応用経営管理論B 応用経営組織論A 応用経営組織論B	リテールマーケティング ブランドマネジメント サービスマーケティング 国際マーケティング	税務会計論	公共経済学 財政政策と金融政策 国際貿易 国際金融	ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ
200番台 (2年次相当)	経営戦略論 経営管理論 経営組織論 アントレプレナーシップ eビジネス論 投資と資産形成 国際経営	技術経営 ファイナンス ビジネスエコノミクス リーダーシップ ビジネスゲーム キャラクタービジネス論	流通論 プロモーション戦略論 消費者行動論	財務会計論 管理会計論	ミクロ経済学 マクロ経済学 金融論	ワークショップA(広告制作) ワークショップB(マーケティング調査) ワークショップC(販売促進) ワークショップD(ビジネス・プランニング) ワークショップE(地域フィールドワーク) ワークショップF(アントレプレナーシップ実践) ワークショップG(脚本制作) ワークショップH(アニメ・マンガ分析)
100番台 (1年次相当)	経営学概論 現代社会とビジネス	日本のビジネス アニメ・マンガ産業論	マーケティング概論	簿記概論 会計学概論 工業簿記 商業簿記	経済学概論	基礎演習Ⅰ 基礎演習Ⅱ アカデミックスキルⅠ アカデミックスキルⅡ
必修要件	6.2単位(学部専攻科目として)					
カリキュラムポリシー	<p>教育内容</p> <ol style="list-style-type: none"> 学部専攻科目においては、経営学と隣接領域に関する実践的な知識・技能の活用を学ぶ。また、演習系科目では、プロジェクト型学習を通じて、調査・企画立案・プレゼンテーションの技能とプロジェクトを実行する創造力・行動力を身につける。 学部専攻科目以外においては、各科目群の履修を通じて、全学DPに掲げられた能力を身につける。 <p>教育方法</p> <ol style="list-style-type: none"> 経営学と隣接領域の科目においては、講義によって知識・技能を伝授するだけでなく、知識・技能の活用を育成するためにアクティブラーニング手法を用いた授業を実施する。 演習系科目においては、調査・企画立案・プレゼンテーションの技能と創造力・行動力を育成するために、プロジェクト型学習を実施する。 <p>評価方法</p> <ol style="list-style-type: none"> 経営学と隣接領域の科目においては、知識・技能の定着を測るだけでなく、知識・技能の活用をパフォーマンスで評価する。 演習科目では、プロジェクトの実行課程における行動評価とプロジェクトの成果に対するパフォーマンス評価を行う。 各授業の評価基準はシラバスと授業ルーブリックによって定める。 卒業判定は、経営学部履修規程に定められた基準によって行う。 					
アドミッションポリシー	<p>経営学部では、地域経済の担い手として、人々から信頼され、社会において幅広い分野で活躍できる自律的な能力を持った人を育成するため、高い知的好奇心に支えられた基礎的な学力を持った入学者を求める。</p> <p>(基礎的な知識技能) 大学での学修で必要となる基礎的・基本的な知識・技能、特に、国語（文章の読解や作成）、数学（論理的思考や計算）、地理・歴史・公民（社会の仕組みの理解）の基礎知識を備えた人</p> <p>(思考力・判断力・表現力等の能力) 大学での学修、特に、企業事例の分析、地域課題への提言、インターンシップ等の能動的な学びに必要となる高い知的好奇心、問題を分析する力、自らの考えを的確に伝える表現力を備えた人</p> <p>(主体性・多様性・協働性) 幅広い分野に興味・関心を持って積極的に大学での学修に取り組み、教員・学生・社会人と円滑にコミュニケーションをとって自ら進んで学ぼうとする意欲を持った人</p>					
備考	卒業要件や履修可能な科目については、入学年度により異なるため、入学年度の教育課程表もあわせて確認すること。					